

法第28条第1項

令和6年度の事業報告書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

令和7年6月

特定非営利活動法人 水環境研究所

1 事業の成果

1-1 特定非営利活動に係る事業の成果

(1) 湧水の水質調査研究に関する事業

A. 印旛沼流域における湿地の水質浄化機能に関する調査研究

本事業は、「ちば環境再生基金」の助成事業として平成 28 年度に開始した。研究成果は毎年、日本地下水学会、水環境学会、水環境学会及び当法人主催の公開シンポジウムでそれぞれ発表したほか、機関紙「わき水通信」を通して随時公表している。

A-1 事業の目的

印旛沼は流域の谷津に流出している湧水を水源としている。当法人では、それらの湧水の多くが硝酸性窒素により汚染されていることから、印旛沼の窒素負荷の一因となっていると考えられる。一方で水田での脱窒による浄化機能は一般に知られている現象である。本研究は、湧水の流出する谷津の湿地における水田と同等の浄化機能の可能性に着目し、谷津を構成する地質環境や地下水の動態から脱窒機構を解明することによって、その成果を湿地及び湖沼の水環境改善に有効に活用することを目的として実施している。

A-2. 畔田の谷津と調査地点の概要

本研究では図 1 の印旛沼流域の手繰川水系畔田の谷津をモデル地区として、台地を涵養域とする湧水の水質浄化について検討することとした。畔田の谷津上流部の台地は古くから畑作として、近年では資材置き場として利用されており、谷頭部からの湧水には高い濃度の硝酸性窒素が検出されている。モデル地区は 20 年ほど前までは稲作が行われていたが、現在では休耕田となっている。アシヤイネ科植物が繁茂しており、ヤナギ、クワ、アカメガシワなどの木々も散見されている。

台地からの湧水は、図 2 の湧水 2 地点から右岸水路を流下しているが、湧水 1 地点からは左岸水路へ流下しているほか、1 年ほど前より谷津湿地に流入するようになった。ここで、湿地の表層(上位)の沖積層は有機質シルト層を主体とし、下位の凝灰質砂を主体とする洪積層へと漸移してい



図 1 畔田の谷津と周辺の土地利用状況



図 2 畔田の谷津調査地点図(赤印地点)

るのが確認されている。

過去 8 年の調査内容を表 1 に示す。

表 1 過去 8 年間の調査内容

調査年度	調査内容
平成 28 年度	<ul style="list-style-type: none">・ピエゾメーターの設置（千葉大学の協力）・地質調査・測量・湿地内に更新統の観測井を設置・湧水と流下する水路の安定同位体比（$\delta^{15}\text{N}$、$\delta^{18}\text{O}$）の分析
平成 29 年度	<ul style="list-style-type: none">・湿地内の完新統に観測井を設置。・湿地と地下水の関係を把握することを目的とした地下水位と水質調査の定期観測（1 回/月）及び完新統の地下水の窒素及び酸素同位体比による脱窒の検証
平成 30 年度	<ul style="list-style-type: none">・沖積層中の地下水位及び地下水質の定期測定 of 継続・実験水路の設置。
令和元年度	<ul style="list-style-type: none">・観測井・湧水の地下水位及び地下水質の定期測定 of 継続・前年度設置した実験水路における脱窒効果の検証・自記記録計を（ロガー）を設置し地下水位の 10 分毎の連続記録を開始・沖積層中の脱窒と地下水位の関連性の検証・沖積層中の簡易透水試験
令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none">・観測井・湧水の地下水位及び地下水質の定期測定 of 継続・谷津田調査 モデル地区以外の谷津田 2 箇所（菖蒲谷津、山之田谷津）における同位体による脱窒の検証
令和 3 年度	<ul style="list-style-type: none">・観測井・湧水の地下水位及び地下水質の定期測定 of 継続・完新統の地下水の水質特性の調査 硝酸性窒素、アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素、全窒素、主要イオン 8 項目
令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none">・湧水及び観測井の定期調査の継続（令和 4 年 8 月 20 日まで）・沖積層内の地下水の水質特性の調査（令和 4 年 9 月 17 日）・地下水位の自記記録計の撤収（令和 5 年 2 月 25 日）
令和 5 年度	<ol style="list-style-type: none">1) データ整理作業（令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日）<ol style="list-style-type: none">① 報告書作成の準備② データ解析③ 畔田谷津成果検討会議（令和 5 年 4 月 8 日、5 月 20 日、7 月 9 日、9 月 10 日、10 月 21 日、令和 6 年 2 月 23 日）2) 実験水路撤収（令和 5 年 4 月）

A-3. 令和6年度活動と成果

(1) 活動内容

令和6年度の活動は以下のとおりである。

- ① データ整理と取りまとめのための検討会議
- ② 国立環境研究所研究員への現地案内
- ③ 基準点の水準測量
- ④ 水環境シンポジウムでの成果発表
- ⑤ 観測井を利用した単孔でのペーパーディスクによる流向流速の計測（山口大学の協力）

(2) 成果

2017年度から継続してきた畔田谷津調査のまとめのための検討会公民館、及びオンラインで開催した。また、補完調査として、観測井の管頭標高の基準となる基準点の標高値を明確にするための水準測量及び山口大学の協力で谷津の地下水の流向流速を実施した。結果を以下に示す。なお、まとめについてはまだ途中であり、現段階での解析結果及び考察は以下のとおりである。

(まとめの状況)

- ① 台地に浸透した地下水は谷頭部で湧水として流出し、水路や湿地を形成しながら谷津を流下している。
- ② この湿地帯は 10^{-6} ~ 10^{-7} m/s の透水係数を持つ厚さ約 2.5m の有機質のシルト層及び腐植土層からなる完新統の地層で構成され、不均質な構造をなしていると考えられる。
- ③ 湿地帯に設置した観測井の地下水位観測結果から、更新統の境界付近（深度 2.5m 付近）や更新統の地下水は被圧していることを把握した。
- ④ 高水位期では谷津内での地下水は更新統から完新統への上向きの地下水の流れが強くなり、逆に低水位期では完新統から更新統に向かう地下水の流れが生じていると考えられ、この地下水の上下方向の流れの変化が硝酸性窒素の脱窒に影響していると考えられる。
- ⑤ また、完新統内の溶存酸素濃度や酸化還元電位の季節的変動から、冬季よりも夏季に嫌気的環境がより顕著になることが明らかになった。このことから、より効果的な脱窒を図るには冬季よりも夏季がより適切であると考えられる。
- ⑥ 地下水の上向きのフラックス下向きのフラックスが存在し、脱窒が完新統と更新統の境界付近で行われている可能性があることを明らかにした。
- ⑦ 更新統と完新統の境界付近の窒素安定同位体比及び酸素安定同位体比の分布図から、この境界付近で脱窒が起きているという仮説を裏付けることができた。
- ⑧ 更に、硝酸性窒素濃度の低減時に二価鉄イオン濃度が高くなることから、二価鉄イオンの存在が水質浄化の指標となり得ることも判明した。

(流向流速の計測結果)

山口大学の協力により、ペーパーディスクによる流向流速を計測した。更新統の最上部の流速は 10^{-7} m/sec オーダーの透水係数を示し、過去に実施した透水試験の結果と整合的であった。ま

た、西方向の流向を示し、更新統と完新統の境界付近に複雑な地下水の流れがあることが判った。今後は高水位期に計測し、流向の解析を進めることとした。本計測結果を山口大学の研究集会で報告した。

(水準測量結果)

水準測量により基準点四街道市の「基 103」と佐倉市の「基準点 00」との比高差を求め、「基準点 00」の標高値を確定した。その結果、これまで国土地理院の電子国土地図から求めた暫定標高「14.000m」より 0.3225m高い「TP.14.3225m」となった。このことにより、これまでの観測井の菅頭標高を 0.3225m補正することとなった。

(学会等発表)

水環境学会が開催した第 27 回水環境学会シンポジウムに成果を発表した。

発表年月日：令和 6 年 9 月 12 日

会場：岩手大学上田キャンパス

発表者：瀧和夫（NPO 法人水環境研究所理事）

タイトル：「台地の裾にある湿地帯の浄化に及ぼす地下水の影響」

参照資料 添付資料-1 学会発表予稿

A-4. 畔田谷津調査のまとめ

本年度及び過去8年間にわたり継続した調査の成果を整理した。

1. 谷津の地質構造について

- 谷津を構成する完新統の層厚が概ね2.5m程度である。
- 完新統は有機質に富むシルト層を主体にとりどころ腐植土層を挟む不均質な構造が認められた。
- 完新統の下位に堆積する更新統は、火山灰質の成分に富む砂層が認められた。
- 完新統の透水係数は概ね 10^{-8}m/sec ~ 10^{-7}m/sec 、更新統で 10^{-7}m/sec のオーダーであった。

2. 地下水位について

- 地下水位の定期測定より、谷津の更新統及び完新統の下部では地下水は肥厚されている。
- 地下水位は各観測井とも連動して変動しており、日変動、季節的な変動は不明瞭であるが降雨との関連性は認められた。
- W2とW2-2.5②は6年間の調査期間をとおしてほぼ被圧状態にあり、お互いに拮抗した水頭圧で変動した。

3. 水質について

- 湧水の硝酸性窒素濃度は2~6mg/Lの範囲にあるが、完新統中の地下水では硝酸性窒素はほとんど検出されず、まれに完新統最下部でわずかに検出される。一方で完新統に接している更新統の地下水の硝酸性窒素濃度は0.2~5 mg/L以上の範囲で検出され濃度が不安定である。
- 酸化還元電位は、湧水及び更新統では酸化的環境、完新統では還元的環境にあり、完新統では相対的に夏季に低く、冬季に高くなる季節変動が明瞭に認められた。
- pHはうど完新統の深さ1.5~2.0m付近で局所的に4.0~5.0の範囲で酸性を示す傾向が認められた。
- 溶存酸素は、完新統では季節変動が認められ夏季に低く、冬季に高くなる傾向が認められた。
- 湿地表層部、完新統では高い頻度で二価鉄が高濃度で検出された。
- 完新統の地下水はGL-2.0m付近を境に水質が大きく変化する。GL-2.0mまでは硫酸イオンが突出して多くなるが、GL-2.5mでは完新統直下の更新統と類似した成分組成を示し、マグネシウムイオンの成分と拮抗している。

4. 総合検討

- GL-2.5m②とW2の地下水位は被圧しており、その水頭圧の差によって完新統と更新統の境界付近では、更新統から完新統へフラックス、逆に完新統から更新統へのフラックスが生じていると考えられる。このことから、完新統最下部とそれに接している更新統の地下水の水質の類似性が説明できると考える。
- 完新統と更新統の境界付近では、更新統中の硝酸性窒素濃度が高い地下水が上向きのフラックスによって嫌気的環境下にある完新統内で脱窒される可能性がある。一方で地下水位が全体に低下し完新統最下部で地下水位に下向きのフラックスが生じている場合には、完新統内の還元性の地下水が更新統に浸透し、境界付近の更新統の地下水中では脱窒作用が促進されていると考える。このことは、W2の地下水位が低いと硝酸性窒素濃度が低い傾向にあることを説明できると考える。
- ORPとDOに季節変動がみられ、微生物の活動が鈍くなることが要因と考える。そのため冬季では還元的環境が形成されず脱窒作用は弱いと考える。
- 完新統GL-2.0mまでは硫酸イオンの当量比が突出して多い。完新統内の最下部のW2-2.5-2は更新統の地下水と類似している。このことは、地下水位の分布によって完新統と更新統の境界付近で地下水が双方向に動いていることを裏付けていると考える。

(2) 湧水湧出地周辺における生物相の調査に関する事業

「(1) A印旛沼流域における湿地の水質浄化機能に関する調査研究」の一環として谷津田の生物相調査を実施した。

(3) 湧水湧出地周辺の地質調査に関する事業

「(1) A印旛沼流域における湿地の水質浄化機能に関する調査研究」の一環として谷津田の地質調査を実施した。

(4) 水環境の保全に関する事業

A. 湧水モニタリング調査

昨年度に引き続き千葉県内の湧水地点モニタリング調査を実施した。

調査地点数：33箇所（表3）

調査項目：pH、水温、電気伝導率、流量、硝酸性窒素(パックテスト)、試料採取、水質分析

調査期間：令和6年4月~12月

延べ調査員数：25名 延べ調査日数：6日

参照資料 添付資料-2 湧水モニタリング結果

B. 一本松湧水の自噴高測定

西印旛沼湖畔にある一本松湧水は水汲み場として地域で保全されている自噴井である。当法人では自噴井の水頭圧を測定し、自噴高は印旛沼の管理水位(Y P 2.3m)を超えることが判明した。このことにより地下水を活用した印旛沼水質自浄化の可能性があることから、今後は印旛沼に分布する自噴井の調査を進めるため、情報収集を始めることとした。

参照資料 添付資料-3 一本松湧水調査報告書

(5) セミナー、講演などを通しての環境啓発に関する事業

A. 講師派遣

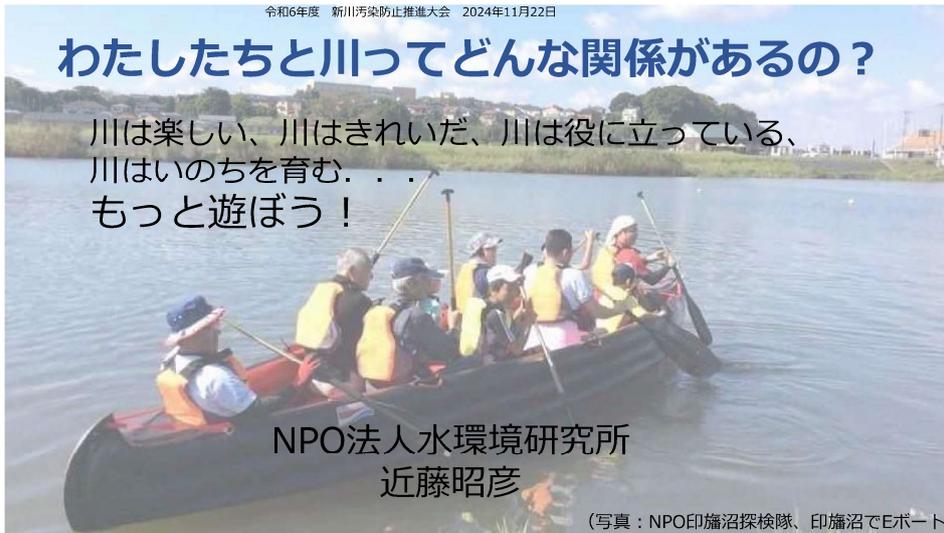
旭市の依頼により「令和6年度 新川汚染防止推進大会」において講演を行った。

開催日：令和6年11月12日

会場：東総文化会館 小ホール

講師：近藤昭彦（NPO 法人水環境研究所理事長）

講演内容：タイトル「私たちと川ってどんな関係があるの？」



参照資料 添付資料-4 講演スライド

(6) その他、水環境の普及啓発に関連する事業

A. 佐倉市里山フェアへの出展

佐倉市主催の「佐倉さとやまフェス」に「NPOまるごと印旛沼」と共同参加した。

開催日：令和6年4月27日

会場：佐倉里山自然公園（佐倉市畔田）

参加形式：ブースでのポスター展示、リールレット等の配布



B. リーフレットの発行と配布

印旛沼環境基金の助成事業及びちば環境再生基金の助成事業として、湧水モニタリング調査データを活用してリーフレット「印旛沼エリアの湧水と水環境」の増刷、「九十九里エリアの湧水めぐり（その1）」、「印旛沼エリアの湧水めぐり（その1）2025改訂版」を発行した。

- 仕様：210 mm×600 mm 6つ折り 全ページカラー、 B3 三つ折り 全ページカラー
- 発行部数：各 100 部
- 印刷：株式会社みつわ
- 発行日：令和6年4月（第2刷）、令和7年3月

参照：添付資料-5 リーフレット一式

印旛沼流域の湧き水と水環境

湧き水の自然と文化・歴史に触れて、印旛沼の魅力を感じよう！

特定非営利活動法人 水環境研究所 編

湧き水めぐりのおすすめコース	
コースA 自然と歴史を巡ります	
1 加賀川	2 大田ヒヤトブ
3 大田ヒヤトブ	4 大田ヒヤトブ
5 大田ヒヤトブ	6 大田ヒヤトブ
7 大田ヒヤトブ	8 大田ヒヤトブ
9 大田ヒヤトブ	10 大田ヒヤトブ
11 大田ヒヤトブ	12 大田ヒヤトブ
13 大田ヒヤトブ	14 大田ヒヤトブ
15 大田ヒヤトブ	16 大田ヒヤトブ
17 大田ヒヤトブ	18 大田ヒヤトブ
19 大田ヒヤトブ	20 大田ヒヤトブ
21 大田ヒヤトブ	22 大田ヒヤトブ
23 大田ヒヤトブ	24 大田ヒヤトブ
25 大田ヒヤトブ	26 大田ヒヤトブ
27 大田ヒヤトブ	28 大田ヒヤトブ
29 大田ヒヤトブ	30 大田ヒヤトブ
31 大田ヒヤトブ	32 大田ヒヤトブ
33 大田ヒヤトブ	34 大田ヒヤトブ
35 大田ヒヤトブ	36 大田ヒヤトブ
37 大田ヒヤトブ	38 大田ヒヤトブ
39 大田ヒヤトブ	40 大田ヒヤトブ
41 大田ヒヤトブ	42 大田ヒヤトブ
43 大田ヒヤトブ	44 大田ヒヤトブ
45 大田ヒヤトブ	46 大田ヒヤトブ
47 大田ヒヤトブ	48 大田ヒヤトブ
49 大田ヒヤトブ	50 大田ヒヤトブ
51 大田ヒヤトブ	52 大田ヒヤトブ
53 大田ヒヤトブ	54 大田ヒヤトブ
55 大田ヒヤトブ	56 大田ヒヤトブ
57 大田ヒヤトブ	58 大田ヒヤトブ
59 大田ヒヤトブ	60 大田ヒヤトブ
61 大田ヒヤトブ	62 大田ヒヤトブ
63 大田ヒヤトブ	64 大田ヒヤトブ
65 大田ヒヤトブ	66 大田ヒヤトブ
67 大田ヒヤトブ	68 大田ヒヤトブ
69 大田ヒヤトブ	70 大田ヒヤトブ
71 大田ヒヤトブ	72 大田ヒヤトブ
73 大田ヒヤトブ	74 大田ヒヤトブ
75 大田ヒヤトブ	76 大田ヒヤトブ
77 大田ヒヤトブ	78 大田ヒヤトブ
79 大田ヒヤトブ	80 大田ヒヤトブ
81 大田ヒヤトブ	82 大田ヒヤトブ
83 大田ヒヤトブ	84 大田ヒヤトブ
85 大田ヒヤトブ	86 大田ヒヤトブ
87 大田ヒヤトブ	88 大田ヒヤトブ
89 大田ヒヤトブ	90 大田ヒヤトブ
91 大田ヒヤトブ	92 大田ヒヤトブ
93 大田ヒヤトブ	94 大田ヒヤトブ
95 大田ヒヤトブ	96 大田ヒヤトブ
97 大田ヒヤトブ	98 大田ヒヤトブ
99 大田ヒヤトブ	100 大田ヒヤトブ

湧き水伝説コース

湧き水にまつわる伝説には、奥深い、心に残る内容がたくさん盛り込まれています。そんな古い伝説が読みやすい体で収録されています。

自然の癒しコース

印旛沼流域の湧き水と水環境が、癒し効果をもたらすことが多くあります。その癒し効果について詳しく解説されています。

くもの井

くもの井は、湧き水の湧き出し口を覆った石製の井戸です。くもの井には、湧き水の湧き出し口を保護するだけでなく、湧き水の温度を一定に保つ役割があります。

大田ヒヤトブ

大田ヒヤトブは、湧き水の湧き出し口を覆った石製の井戸です。大田ヒヤトブには、湧き水の湧き出し口を保護するだけでなく、湧き水の温度を一定に保つ役割があります。

山田の湧き水

山田の湧き水は、湧き水の湧き出し口を覆った石製の井戸です。山田の湧き水には、湧き水の湧き出し口を保護するだけでなく、湧き水の温度を一定に保つ役割があります。

信仰の湧き水コース

信仰の湧き水は、湧き水の湧き出し口を覆った石製の井戸です。信仰の湧き水には、湧き水の湧き出し口を保護するだけでなく、湧き水の温度を一定に保つ役割があります。

くらしの湧き水コース

くらしの湧き水は、湧き水の湧き出し口を覆った石製の井戸です。くらしの湧き水には、湧き水の湧き出し口を保護するだけでなく、湧き水の温度を一定に保つ役割があります。

印旛沼流域 湧き水の特性と分布図

湧き水の特性と分布図は、湧き水の湧き出し口を覆った石製の井戸です。湧き水の特性と分布図には、湧き水の湧き出し口を保護するだけでなく、湧き水の温度を一定に保つ役割があります。

印旛沼流域 湧き水めぐり

湧き水めぐりには、湧き水の湧き出し口を覆った石製の井戸です。湧き水めぐりには、湧き水の湧き出し口を保護するだけでなく、湧き水の温度を一定に保つ役割があります。

番号	湧き水名	所在地	湧き水の種類	湧き水の温度	湧き水の流量	湧き水の成分
1	加賀川	加賀川	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
2	くもの井	くもの井	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
3	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
4	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
5	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
6	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
7	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
8	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
9	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
10	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
11	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
12	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
13	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
14	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
15	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
16	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
17	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
18	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
19	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
20	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
21	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
22	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
23	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
24	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
25	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
26	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
27	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
28	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
29	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
30	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
31	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
32	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
33	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
34	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
35	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
36	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
37	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
38	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
39	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
40	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
41	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
42	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
43	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
44	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
45	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
46	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
47	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
48	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
49	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L
50	大田ヒヤトブ	大田ヒヤトブ	湧き水	12.0℃	1000L/分	Ca ²⁺ 100mg/L, Mg ²⁺ 50mg/L

リーフレット「印旛沼流域の湧き水と水環境」(第2刷) (左:表面 右:裏面)

1-2 その他の活動に係る事業の成果

当法人では平成25年度より「その他の事業」に該当する事業は設けていない。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額（円）
湧水の水質調査研究に関する事業	印旛沼流域における湿地の水質浄化機能に関する調査研究	令和6年4月～令和7年3月	佐倉市	延43名	会員 21名 市民一般多数。 環境保全活動に係る市民、団体	67,758
湧水湧出地周辺における生物相の調査に関する事業						
湧水湧出地周辺における地質調査に関する事業						
水環境の保全に関する事業	湧水モニタリング調査	令和6年4月～12月	千葉県全域	延25名	会員 21名 県民一般多数 環境保全活動に係る市民、団体	309,929
セミナー、講演などを通しての環境啓発に関する事業	令和6年度 新川汚染防止推進大会 講師派遣 「私たちが川ってどんな関係があるの？」	令和6年11月22日	旭市	1名	参加者 約120名	0
その他、水環境の普及啓発に関連する	佐倉さとやまフェス	令和6年4月27日	佐倉市	2名	市民一般多数。	5,600
	リーフレットの発行	令和6年4月～令和7年3月		5名	環境保全活動に係る市民、団体	174,008